



3

会期等における横浜市の取組

国際技術協力の拡大	012
ビジネス支援の強化、女性の活躍推進	017
次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等	021
危機管理・施設管理	038

国際技術協力の拡大

「アフリカのきれいな街プラットフォーム (ACCP)」 第2回全体会合

期間 令和元年8月26日(月)・27日(火)

概要

日本では初となる全体会合を横浜で開催しました。アフリカ各国・各都市や国際機関等が参加し、「レジリエントできれいな都市の実現に向けた持続可能な廃棄物管理」をテーマにアフリカが直面する廃棄物の課題に関する発表や意見交換を行いました。

会場 はまぎんホール ヴィアマーレ、
パシフィコ横浜 展示ホールB

主催 環境省、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、横浜市、国連環境計画 (UNEP)、国連人間居住計画 (UN-Habitat)

参加人数 約400人

主な参加者

日本側：環境省、関係省庁、JICA、横浜市、民間企業等

アフリカ側：ACCP加盟国・都市

国際機関：UNEP、UN-Habitat、関係国際機関

内容

初日には企業による廃棄物への最新技術の発表や市内中学生による英語のスピーチ等が行われました。2日目のハイレベルセッション『「アフリカのきれいな街と健康な暮らし」の実現に向けたACCPの貢献』では、林市長が横浜市のごみ分別、食品ロスやプラスチック対策の取組を紹介しました。また、共同声明都市であるコートジボワール・アビジャン自治区のマンベ知事も登壇し、アビジャン自治区における廃棄物管理の課題等について発言しました。



林市長によるステートメント



27日のハイレベルセッション登壇者



会場(パシフィコ横浜)の様子

プログラム

日時・会場	内 容
8月26日(月) 9:30~17:30 はまぎんホール ヴィアマーレ	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市(小林副市長)による挨拶 他 ○廃棄物管理の経験と技術 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市資源循環局長によるスピーチ「横浜市における廃棄物適正管理の取組～プラスチック対策を中心に～」 ・日系企業及びアフリカ企業による廃棄物処理の最新技術の発表(ロビーとハワイエにてブース出展) 他 ○廃棄物管理に関する環境教育・住民啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市内中学生による英語スピーチ 他
8月27日(火) 10:30~17:00 パシフィコ横浜 展示ホールB	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs達成に向けた廃棄物データ活用 ○廃棄物管理の改善に向けた資金動員 ○ハイレベルセッション「[アフリカのきれいな街と健康な暮らし]の実現に向けたACCPの貢献」 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市長によるステートメント ・ハイレベルセッション出席者:環境省、JICA、UN-Habitat、横浜市、アフリカ政府・都市 他 ○閉会



中学生によるスピーチ

アフリカのきれいな街プラットフォーム (ACCP) 概要

ミッション：

2030年までにアフリカ諸国がきれいな街と健康な暮らしを実現し、廃棄物管理に関するSDGsを達成する。

構成員：

アフリカ各国・都市(2019年7月末時点で36か国65都市)、環境省、JICA、横浜市、UNEP、UN-Habitat

横浜市の役割：

横浜市は、これまでの廃棄物管理の知見・経験や先進的な技術が評価され、本邦研修の拠点として位置づけられ、これまで5回の研修を実施。

経緯：

平成28年8月 TICAD VI でのJICAサイドイベント「廃棄物管理セミナー」(ケニア・ナイロビ)

平成29年4月 「アフリカのきれいな街プラットフォーム」設立準備会合(モザンビーク・マプト)

平成30年6月 「アフリカのきれいな街プラットフォーム」第1回年次会合(モロッコ・ラバト)

国際技術協力の拡大

第2回日・アフリカ官民インフラ会議

日時 令和元年8月27日(火)
13:00~17:00

概要

国土交通省が中心となり、日本の「質の高いインフラ投資」のアフリカにおける展開を支援することを目的に、「第2回日・アフリカ官民インフラ会議」が8月27日に開催されました。横浜市は、「持続可能な都市の実現」をテーマとしたセッションで取組を紹介しました。

会議翌日の28日には、同会議に参加したアフリカのインフラ関係者がみなとみらい地区を視察しました。

会場 パシフィコ横浜 展示ホールC

主催 国土交通省、アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)、独立行政法人国際協力機構(JICA)

参加人数 官民合計で約500人
(日本側 約370人、
アフリカ・国際機関側 約130人)

内容

会議では、「質の高いインフラ投資」について議論が行われたほか、「質の高いインフラによる日本企業のアフリカへの貢献」、「重点開発地域に対する今後のアプローチ」、「持続可能な都市の実現」がテーマごとに議論されました。

1 セッション3「持続可能な都市の実現」

「持続可能な都市の実現」をテーマとして、2050年までに都心部がメガシティとなるアフリカ4か国(ナイジェリア、コートジボワール、タンザニア、コンゴ民主共和国)の大臣・政府高官より、持続可能な都市の実現に

向けて掲げる政策や課題が紹介されました。パネルディスカッションでは、平原副市長が登壇し、横浜市の鉄道ネットワーク整備と一体となったまちづくりや都心部強化の取組を紹介しました。

2 JICA招へい者のみなとみらい地区の視察

JICAの招へいによりセッション3に参加したアフリカ4か国のインフラ関係者が、横浜ランドマークタワー展望フロア「スカイガーデン」で横浜市都市整備局の説明を受けながら、みなとみらい地区を視察しました。



セッション3の様子



JICA 招へい者のみなとみらい地区の視察

国際技術協力の拡大

横浜PRブース出展

期間 令和元年8月27日(火)～30日(金)

概要

TICAD7公式サイドイベントとして、横浜市の取組を紹介するブースを出展しました。会議参加者からは、市の取組や自国との連携に関する質問だけでなく、観光に関する質問や横浜に対する感想の声も聞かれ、アフリカと横浜のつながりや横浜市の魅力をPRする機会となりました。

会場 パシフィコ横浜 会議センター3階

主催 横浜市

参加人数 175人(ブース来訪者)

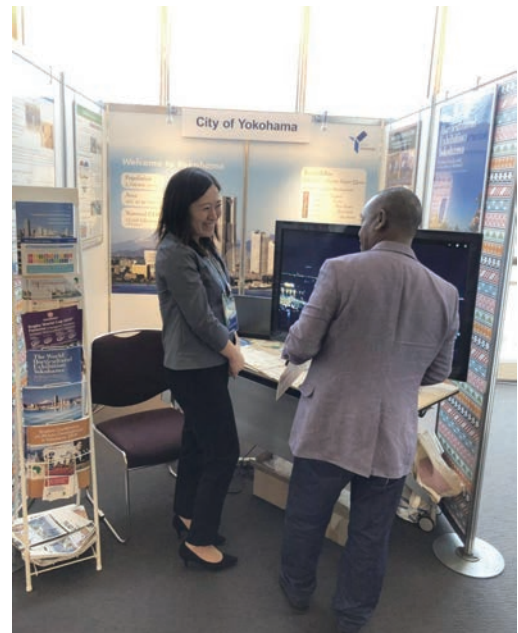
展示内容

- ・ 温暖化対策統括本部：
「SDGs未来都市・横浜」、 「横浜市地球温暖化対策実行計画」取組紹介
- ・ 政策局：国際園芸博覧会誘致
- ・ 市民局：ラグビーワールドカップ2019™
- ・ 水道局：技術協力の取組紹介(アフリカ)

等



ブース全景



来訪者への対応の様子

国際技術協力の拡大

プラスチックごみ対策ブース

期間 令和元年8月27日(火)～30日(金)

概要

海洋プラスチックごみ問題が注目される中、横浜市のプラスチックごみ対策の取組「よこはまプラスチック資源循環アクションプログラム」を紹介するブースを出展しました。

会場 パシフィコ横浜 展示ホールA
(メディアセンター内)

主催 横浜市

展示内容

- 1 プラスチック代替素材製品
 - ・バイオマスプラスチック製ごみ袋
 - ・生分解性プラスチック製のスプーン・フォーク
 - ・木製スプーン・フォーク・ストロー
 - ・紙製ポケットティッシュ
 - ・お持ち帰り専用買い物かご「マイバスケット」他
- 2 資源循環局の取組紹介パネル
 - ・よこはまプラスチック資源循環アクションプログラムの紹介
 - ・駅、学校での市民の皆様への啓発
 - ・企業との連携
- 3 地域住民の取組紹介パネル
 - ・地域住民による美化清掃活動
 - ・収集事務所と地域住民によるプラスチックごみ飛散防止対策
- 4 動画放映
 - ・ポイ捨て防止啓発ビデオ(「ポイ捨てごみはどこへ行く?～海を漂うプラスチック～」)
 - ・収集車による啓発の様子



ブースの様子



生分解性プラスチック製品

ビジネス支援の強化、女性の活躍推進

日本・アフリカビジネスEXPO ジャパン・フェアへの参加

期間 令和元年8月28日(水)～30日(金)

内容

概要

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)の主催により開催された「日本・アフリカビジネスEXPO ジャパン・フェア」に、横浜市がブースを出展しました。

会場 パシフィコ横浜 展示ホールD

参加人数 日本・アフリカビジネスEXPO
来場者数 約21,000人
横浜市ブース来場者数 約2,100人

横浜市ブースでは、公募等により集まった市内中小企業10社がアフリカとのビジネス展開に向けた優れた製品・技術・取組を国内外の多くの方に紹介しました。また、フォトスポットとなったアフリカ布を使用した浴衣の試着体験には、国内外の沢山の方に参加いただきました。企業で受け入れているアフリカからの研修生などによるプレゼンテーションでは、聴講者との活発な質疑応答の場面が見られました。

また、横浜市ブース以外に市内企業5社が出展し、横浜市ブースと広報やブース装飾で連携しました。

会期等における横浜市の取組



横浜市ブースの様子



アフリカ布の浴衣を試着したブース来場者



コートジボワール首相が横浜市ブースに来場



横浜市ブース出展企業によるプレゼンテーション



アビジャン自治区特別顧問と出展企業との交流

ジャパン・フェア 横浜市ブースへの出展者及び出展内容

出展者	出展内容
株式会社おうち菜園	アフリカ向けアクアポニックス農場に関するパネル・動画展示
株式会社コーケン	モーターサイクル用オリジナルパーツ、アルマイト加工カラーサンプル等の展示
株式会社シェリーココ	アフリカ布製品の展示及び看板商品のアフリカ布浴衣の試着及び撮影
水道テクニカルサービス株式会社	漏水監視機器(L-sign・L-chaser)、漏水調査、技術トレーニング等、無収水対策に関する紹介
株式会社セルフサイエンス	愛媛大学と共同参画しているマラリアワクチン国際開発プロジェクトをはじめ、熱帯感染症撲滅への取組紹介
トミタテクノロジー株式会社	ケニアの恵まれた気候条件と養液設備導入による日本品種イチゴの施設園芸の取組紹介
株式会社バイオメディカル研究所	デング熱などの抗ウイルスIgM検査キットの展示及びELISA検査キットの開発受託のPR
日之出産業株式会社	排水処理のアフリカ展開に関するパネル・動画の展示
株式会社フジケン	新規開発した粉摺り機(インペラ式)の展示
株式会社ヨコハマシステムズ	コートジボワール支店および現地法人 Omeriseの紹介、海外輸出 E-commerce、飲料水の自動販売システムの展示
横浜市経済局ライフィノベーション推進課	横浜ライフィノベーションプラットフォーム(LIP.横浜)の紹介

横浜市ブース以外での市内企業出展者及び出展内容

出展者	出展内容
合資会社オフィス五タラント	南スーダンとマラウイの蜂蜜を日本に輸入販売する事業の展示
京浜蓄電池工業株式会社	JICAとの連携事業などの紹介
株式会社サカタのタネ	アフリカでの種苗ビジネスの紹介
千代田化工建設株式会社	エンジニアリング事業の紹介
日揮株式会社	エンジニアリング事業の紹介

ビジネス支援の強化、女性の活躍推進

シンポジウム「女性と少女が変えるアフリカの未来 ～ビジネスを通じた社会変革の可能性～」の開催

日時 令和元年8月28日(水)
14:00～17:00

概要

アフリカ発展の鍵は、アフリカの女性・少女たちが能力を十分に発揮できる社会を作ることですが、一方で、アフリカの多くの女性や少女は、暴力や貧困のリスクや課題に直面しています。そこで、ソーシャルビジネスがその課題の克服にどのように貢献できるのか、その役割や可能性について探るシンポジウムを開催しました。(TICAD7公式サイドイベント)

会場 パシフィコ横浜 展示ホールB

主催 JICA、横浜市、外務省

参加人数 約300人

内容

- 1 主催者あいさつ
 - ・ 林文子 横浜市長
 - ・ 阿部俊子 外務副大臣
 - ・ 加藤宏 JICA理事
- 2 基調講演「アフリカの女性たちの今、そして未来」

(1) 講演者

- ・ ヌゴジ・オコンジョ・イウェアラ
Gavi ワクチンアライアンス理事長

(2) 内容

アフリカの女性たちのエンパワメントに必要な3つの目標(男性の積極的な関与、女性の政治的・経済的な力の向上、女性起業家が融資や貯蓄を得られるためのテクノロジー)の重要性を指摘し、それに向けた支援を提唱しました。



林市長 あいさつ



阿部外務副大臣 あいさつ



加藤 JICA 理事 あいさつ



オコンジョ Gavi ワクチンアライアンス理事長 基調講演

3 パネルディスカッション 「ビジネスを通じた社会変革の可能性」

(1) 登壇者

ア パネリスト

- ・ レジーナ・ホヌ
Soronko Solutions 最高経営責任者
- ・ ノエル・アーヤンイジュカ
EcoSmart Uganda 最高経営責任者
- ・ アデロイエ・オランレワジュ
Babymigo 最高経営責任者
- ・ 森剛士
株式会社ポラリス 代表取締役
- ・ ジェニファー・ブランキ
アフリカ開発銀行副総裁（農業・人的
資源・社会開発担当）

イ コメンテーター

- ・ スザンナ・ムーアヘッド
経済協力開発機構 (OECD) 開発援助
委員会 (DAC) 議長

ウ モデレーター

- ・ 田中由美子
JICAシニア・ジェンダー・アドバイザー

(2) 内容

はじめに、STEM(科学・技術・工学・数学)分野での女性人材の育成、衛生的な生理用品の開発、ICTを活用した正確な医療情報の提供と妊産婦の相談サービス、シングルマザーやDV被害者の自立支援など、女性が直面する障壁を取り除くソーシャルビジネスの事例がパネリストから紹介されました。続いて、ソーシャルビジネスの展開による、女性のエンパワメントやジェンダー平等の推進、社会変革の可能性について議論され、共通課題として、男性の意識改革、女性をとりまく課題への理解の促進、情報ネットワークの構築などが挙げられました。質疑応答では、アフリカの女性起業家への支援を行っているNPO法人を運営する女性等から、資金調達や支援活動における質問などが活発にされました。



パネルディスカッション

市会歓迎行事

日時 令和元年8月27日(火)
10:00～13:00

概要

市会歓迎行事として市会本会議場でコートジボワール共和国アマドゥ・ゴン・クリバリ首相による演説を実施しました。

演説にあたっては、コートジボワール共和国と「アフリカとの一校一国」で交流のある、横浜市立桜岡小学校6年生の児童が傍聴と花束贈呈を行いました。

また、演説に先立ち横山議長、林市長等との懇談を実施し、演説終了後には、議長主催の昼餐会ちゅうさんかいを開催しました。

会場 横浜市会本会議場 ほか

主催 横浜市会

参加人数 約250人(議場演説)

内容

1 懇談等(10:00～10:35)

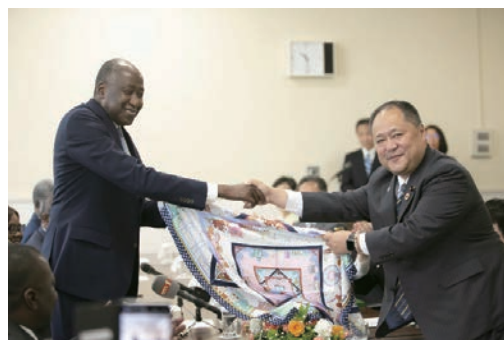
クリバリ首相と横山議長、林市長等との懇談及び写真撮影(市会会議室)

2 議場演説(10:40～11:15)

クリバリ首相による演説(市会本会議場)
演説のテーマ：横浜市の取組テーマである「アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ」

3 議長主催昼餐会(12:00～13:00)

クリバリ首相と横山議長、林市長等との昼餐会(横浜ベイホテル東急 パシフィックルーム)



懇談の様子



クリバリ首相による本会議場での演説



桜岡小学校児童による花束贈呈



議長主催昼餐会の様子

会議参加者との個別会談

概要

1 ブルキナファソ大統領

(1) 概要 林市長がロック・マルク・クリスチャン・カボレ ブルキナファソ大統領と面会しました。大統領からは2014年より横浜市にて開催されているナショナルデーイベントについてお礼を述べられ、今後の都市間連携・協力について意見交換を行いました。

(2) 日時 令和元年8月28日(水) 10:30~10:50

(3) 会場 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル



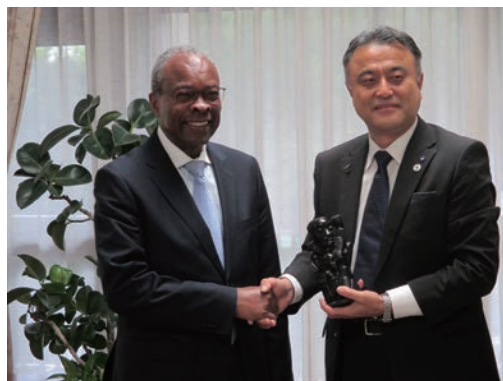
ブルキナファソ大統領

2 モザンビーク共和国マプト市長

(1) 概要 小林副市長が、エアネス・ダコンセアオ・コミシェ マプト市長と面会しました。廃棄物管理行政に関し、今後の協力体制を確認するとともに、将来的な街づくりの展望について意見交換を行いました。また、マプト市長は面会后、本市廃棄物施設を視察されました。

(2) 日時 令和元年8月28日(水) 9:10~9:35

(3) 会場 市庁舎



マプト市長

3 世界銀行グローバルディレクター

(1) 概要 渡辺副市長が、サメ・ワーバ 世界銀行都市・防災・強靱性・国土開発グローバルディレクターと面会しました。副市長から、都市パートナーシッププログラム(CPP)やアジアスマートシティ会議等を通じた同行の協力についてお礼を述べるとともに、今後の協力について意見交換を行いました。

(2) 日時 令和元年8月28日(水) 10:00~10:15

(3) 会場 横浜国際協力センター



世界銀行グローバルディレクター

次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等

子どもたちによる各国首脳のお出迎え

日時 令和元年8月28日(水)
14:00～14:30

主催 横浜市

概要

会議初日の開会式に合わせ、横浜の子どもたちがアフリカ各国の首脳等会議参加者をお出迎えしました。

参加人数 約80人

主な参加者 横浜市立戸部小学校の5年生
ボーイスカウト横浜第132団

会場 パシフィコ横浜 会議センター前



出迎えの様子



出迎えの様子

次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等

総理・横浜市長共催歓迎レセプション

日時 令和元年8月28日(水)
19:00～20:30

概要

安倍総理と林市長の共催により、TICAD7参加の各国首脳・各国際機関の代表者等を招待し、歓迎レセプションを開催しました。

レセプションでは、安倍総理による歓迎挨拶が行われ、林市長は乾杯挨拶で「日本とアフリカの更なる友好と経済成長を祈る」と述べました。

また、瀬谷区の創作和太鼓集団「打鼓音」による演奏が行われたほか、料理の一部には横浜発祥のメニューや市内産の食材を使用して参加者をおもてなしました。

会場 横浜ロイヤルパークホテル 鳳翔

主催 安倍晋三 内閣総理大臣
林 文子 横浜市長

参加人数 約600人

内容

- 19:00 開会
安倍総理による歓迎の挨拶
林市長による乾杯の挨拶
- 19:25 歓談
打鼓音による演奏
MIYAVI UNHCR親善大使による演奏
- 20:30 閉会



河野外務大臣と林市長によるお出迎え



安倍総理による歓迎挨拶



林市長による乾杯挨拶



打鼓音による演奏

次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等

総理夫人主催配偶者プログラムへの実施協力

日時 令和元年8月29日(木)
11:00～15:10

会場 三溪園 鶴翔閣

概要

安倍総理夫人の主催により、アフリカ各国首席代表の配偶者等を対象としたプログラムが開催され、横浜市は開催都市として運営等を支援しました。

プログラムは三溪園で実施され、参加したアフリカ各国首席代表配偶者は、茶道デモンストレーション、日本文化体験、呈茶等を通じて、日本の伝統文化に対する理解を深めました。

主催 安倍昭恵 内閣総理大臣夫人

主な参加者

安倍昭恵 内閣総理大臣夫人、アフリカ各国首席代表配偶者(12か国:アンゴラ、ブルキナファソ、コモロ、コンゴ民主共和国、エスワティニ、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリシャス、ナミビア、ニジェール、シエラレオネ)、林文子 横浜市長

会期等における横浜市の取組



鶴翔閣前での集合写真

内容

- ・ 総理夫人と各国首席代表配偶者との懇談会
各国首席代表の配偶者が、自国で取り組んでいる活動やプロジェクトについて紹介しました。
- ・ 総理夫人主催昼食会
重陽の節句をテーマとした、日本とアフリカの食材を融合したミニ懐石が振る舞われました。
- ・ 茶道デモンストレーション
茶道裏千家淡交会横浜支部による、濃茶の説明が行われました。
- ・ 日本文化体験
全日本伝統文化後継者育成支援協会木村麻子氏による、着物に関するレクチャーが行われました。
- ・ 呈茶
茶道裏千家淡交会横浜支部によって呈茶が振る舞われ、各国首席代表の配偶者は立礼式でお茶を味わいました。



懇談会



昼食会での安倍総理夫人挨拶



昼食会での林市長挨拶



茶道デモンストレーション



日本文化体験(着物に関するレクチャー)



呈茶

次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等

「アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ」展

期間 令和元年8月27日(火)～30日(金)
10:30～19:30(30日は14:30まで)

概要

TICAD7公式サイドイベント会場で、「輝く未来を担うアフリカと横浜の子どもたちの交流」をテーマに、「アフリカの子どもたちが描く環境絵日記」と「都筑・ボツワナ交流児童画展」(一部)を展示しました。

会場 パシフィコ横浜 展示ホールB

主催 横浜市、JICA

内容

- 1 「アフリカの子どもたちが描く環境絵日記」
アフリカ13か国の子どもたちが描いた環境絵日記約300点を展示
- 2 「都筑・ボツワナ交流児童画展 5年間を振り返って～ボツワナ共和国 ベン・テマ小学校～」
横浜市立茅ヶ崎小学校とボツワナ共和国ベン・テマ小学校の児童が絵画を通じて国際交流する事業で描いた作品を約800点展示



「アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ」展
イメージパネル



アフリカの子どもたちが描く環境絵日記展



都筑・ボツワナ交流児童画展

ボランティア活動

概要

市内大学生を中心とする学生ボランティアと市民ボランティアの方々が、国内外から横浜を訪れる会議関係者をおもてなしの心で歓迎し、各種支援を行いました。

また、総理・横浜市長共催歓迎レセプションでは、「横浜市世界を目指す若者応援事業」のOBである高校生がボランティアを行い、ACCP第2回全体会合では、市内中学生が横浜ジュニア英語ボランティアとして参加しました。

参加人数	学生ボランティア	238人
	市民ボランティア	59人
	高校生ボランティア	11人
	中学生ボランティア	20人

内容

1 学生ボランティア・市民ボランティア

期間

中期：令和元年8月24日(土)～8月30日(金)

短期：同 8月27日(火)～8月30日(金)

(1) 学生ボランティア

外務省職員の指導・協力のもと、会議運営をサポートしました。

外交の最前線での臨場感や緊張感を身をもって体感できる貴重な機会となりました。

ア 参加大学

14大学(順不同)

横浜市立大学、横浜国立大学、フェリス女学院大学、神田外語学院・大学、東京外国語大学、上智大学、早稲田大学、慶応義塾大学、関東学院大学、國學院大學、東京大学、岡山大学、筑波大学、明治大学

(※横浜市国際局がグローバル人材の育成に向けて行っている「世界を目指す若者応援事業」参加者1人含む。)



ボランティアユニフォーム



会議当日の様子(大学生ボランティア)

(2) 市民ボランティア

パシフィコ横浜会議センター内やホテル等に設置したインフォメーションデスクでの観光、ショッピング、交通アクセス案内業務等で活躍いただきました。

ア 参加団体

よこはま2002ボランティアの会
神奈川SGGクラブ(神奈川善意通訳者の会)

イ 活動内容

(ア) インフォメーションデスクでの案内業務

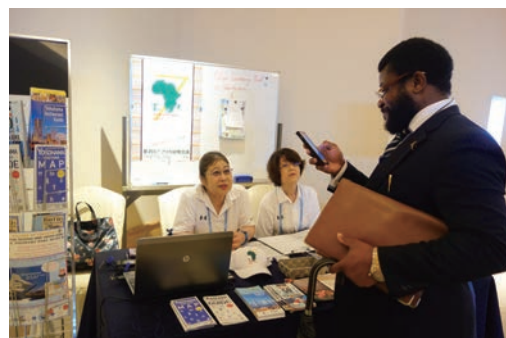
- ・パシフィコ横浜 会議センター2階
- ・パシフィコ横浜 展示ホール1階
- ・ランドマークプラザ3階
- ・クイーンズスクエア2階
- ・みなとみらい駅改札
- ・ヨコハマグランド
インターコンチネンタルホテル2階
- ・横浜ベイホテル東急2階
- ・横浜ロイヤルパークホテル1階

(イ) 託児スペース補助業務

パシフィコ横浜 展示ホール2階

(ウ) ボランティア事務局補助業務

パシフィコ横浜 展示ホールB
ボランティア事務局内



市民ボランティアによる案内



市民ボランティアによる案内

(3) オリエンテーション

8月の会議本番に向けて、オリエンテーションを実施しました。

第1回のオリエンテーションでは、ボランティアユニフォーム贈呈式が行われ、学生・市民ボランティア代表者からの決意表明を行いました。

ア 実施日時

- ・第1回：令和元年7月1日(月)
18:00～20:30
- ・第2回：令和元年7月21日(日)
14:00～16:30

イ 参加人数

- ・第1回：113人(大学生ボランティア91人、市民ボランティア22人)
- ・第2回：189人(大学生ボランティア151人、市民ボランティア38人)

ウ 会場 パシフィコ横浜 501会議室

エ 内容

- ・全体説明(TICAD7の概要、ボランティア業務概要等)
- ・ボランティアユニフォーム披露、協賛企業^(※)紹介
- ・ボランティア代表による決意表明(第1回のみ)
- ・会場視察(パシフィコ横浜)
- ・各班個別説明

※協賛企業

- ・株式会社ドーム：ボランティアユニフォーム(ポロシャツ)
- ・株式会社ナルミヤ・インターナショナル：ボランティアユニフォーム(帽子)
- ・横浜高速鉄道株式会社：みなとみらい線1日乗車券



オリエンテーション(全体説明)の様子



ボランティアユニフォーム贈呈の様子

2 高校生ボランティア

「横浜市世界を目指す若者応援事業」のOBである高校生が総理・横浜市長共催歓迎レセプションで、参加者のお出迎えやご案内をしました。

日時 令和元年8月28日(水)
17:45～19:15

会場 横浜ロイヤルパークホテル 鳳翔

3 中学生ボランティア

市内中学生が、横浜ジュニア英語ボランティアとして、TICAD7サイドイベントであるACCP第2回全体会合に参加し、スピーチなどを行いました。

日時 令和元年8月26日(月)
14:00～15:30

会場 はまぎんホール ヴィアマーレ

参加ボランティアの声

「私は文書班として、会議で使用する書類の作成や机に配置する作業を行いました。中には会議中に配布する作業もありました。その上で、どの順番、配置で置くか工夫することで見やすいようにしました。最初は自分がうまく作業できるのか、周囲は違う大学、年上の人が多く打ち解けることができるのか、緊張や不安もありましたが、外務省の方が丁寧に教えてくれたのでリラックスした状態で行うことができました。会議中に最後の宣言文という重要な書類を配る作業は会議の全てが詰まっている感じがして、とても緊張しました。会議の最後に安倍首相が木槌で叩いた瞬間は今までの成果が出たような気がして、達成感がありました。

学生がアフリカ各国の首相や国際機関の方、外務省の方と共にボランティアできる機会は滅多にないと思います。とても貴重な経験になりました。その分、アフリカの方と話す上で語学の力不足だと感じ、悔しかったです。これからは、語学力、コミュニケーション力をつけていきたいと思いました」(大学1年、文書班)



様々なPC作業にも対応

「数多くあるボランティアの中でも国際会議のボランティアは非常に貴重な機会であり、将来国際的な活躍を目指しているので、自分にとって今までにないほどの強い刺激のある経験ができそうだと感じたから。

実際にアフリカの方々話し、実用的な英語を使う経験ができた。大統領や大臣などが目の前にいる状況の中で業務を行い、感じたことのない緊張感があった。運営に関わっているスタッフの方ともたくさん交流してこれからの将来について多くのアドバイスをいただき、自分の考えを変えるきっかけとなった。今まで海外の人と話したことがほとんどなく今回のボランティアを通してもっと自分の語学力を鍛えたいと思い、将来どうしていきたいかについて考える非常に貴重な経験ができた」(大学1年、総務班)



担当同士の情報共有



大学生モデルとしてアフリカの各国をイメージした着物で参加者をおもてなし

市内観光の案内

期間 令和元年8月28日(水)～30日(金)

概要

会議参加者へのおもてなしと、横浜の魅力をPRすることを目的として、観光デスクの設置や視察ツアーの企画を実施しました。

主催 横浜市

参加人数 68人(観光デスク利用)

主な参加者 TICAD7参加者

内容

1 観光デスク

8月28日(水)・29日(木) 8:00～18:00

会場：パシフィコ横浜会議センター
インフォメーションデスク

2 視察ツアー

8月30日(金) 14:00～17:00

会場：川井浄水場

※最小催行人数に満たなかったため催行せず



観光デスク

**TICAD7
FIELD TRIP**
August 30, 2019
Water Supply
Technology
In Yokohama

Kawai Purification Plant
(2858 Kamikawaicho Asahi-ku,
Yokohama-shi)

14:00-----Departure
14:30--16:30-Enjoy visit
17:00-----Tour end
Meeting place: Pacifico Yokohama

For free

Limit 30 participants
Transportation Bus
Language English

Contact:ticad7-yokohamatour@or.knt.co.jp

City of Yokohama

視察案内チラシ

次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等

第3回野口英世アフリカ賞 授賞式・記念晩餐会

日時 令和元年8月30日(金)
19:30~22:00
(授賞式 19:30~、晩餐会 20:20~)

概要

TICAD7にあわせて、安倍総理主催の第3回野口英世アフリカ賞授賞式及び記念晩餐会が天皇皇后両陛下御臨席の下、開催されました。

式典には、会議に出席するアフリカ各国首脳、TICAD共催者、保健医療関係国際機関の長、野口英世アフリカ賞の関係者等とともに、横浜市を代表して林市長が出席しました。

会場 明治記念館(授賞式「蓬莱」、
記念晩餐会「富士」)

主催 安倍晋三 内閣総理大臣

参加人数 約170人



受賞者へのメダル授与



天皇陛下のお言葉



式辞を述べる安倍総理

次世代育成・市民交流の充実、会議参加者との交流等

第3回野口英世アフリカ賞 横浜市長主催昼食会

日時 令和元年8月31日(土)
12:00～13:10

概要

第3回野口英世アフリカ賞の受賞者であるジャン＝ジャック・ムエンベ＝タムフム博士(コンゴ民主共和国)及びフランシス・ジャーバス・オマスワ博士(ウガンダ共和国)をお迎えし、林市長主催の昼食会を開催しました。

会場 横浜ロイヤルパークホテル 四季亭

主催 横浜市長

参加人数 10人

参加者

受賞者及びそのご家族

寺澤元一 内閣府野口英世アフリカ賞担当室長

横山正人 横浜市会議長

佐藤祐文 日本アフリカ友好横浜市議員連盟会長

林 文子 横浜市長

赤岡 謙 国際局長

修理 淳 医療局長

内容

挨拶(横浜市長)

乾杯(横浜市会議長)

歓談

記念撮影



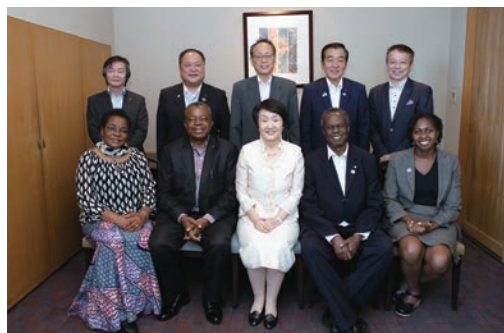
市長挨拶



市会議長による乾杯



受賞者のムエンベ博士とオマスワ博士



記念撮影

第3回野口英世アフリカ賞 受賞者歓迎式典

日時 令和元年8月31日(土)
14:00～15:40

概要

野口英世博士にゆかりのある横浜市長浜ホールにおいて、第3回野口英世アフリカ賞受賞者をお迎えする歓迎式典を開催しました。

会場 横浜市長浜ホール

主催 横浜市

参加人数 60人

参加者

ジャン＝ジャック・ムエンベ＝タムフム博士
(コンゴ民主共和国)

フランシス・ジャーバス・オマスワ博士
(ウガンダ共和国) 他

内容

- ・主催者挨拶(渡辺巧教 副市長)
- ・来賓紹介(金沢区選出の神奈川県議会議員及び横浜市議会議員 他)
- ・「アフリカとの一校一国」でウガンダと交流のある横浜市立文庫小学校特別音楽クラブ児童による演奏
- ・野口英世アフリカ賞記念碑(長浜ホール常設)へのプレート設置
- ・受賞者スピーチ
- ・花束贈呈
- ・旧細菌検査室、旧長濱検疫所一号停留所(厚生労働省横浜検疫所検疫資料館)視察



文庫小学校特別音楽クラブによる演奏



記念碑へのプレート設置・花束贈呈



旧細菌検査室視察の様子



一号停留所前での記念撮影

記念品等

概要

会議に参加されたアフリカ各国の首脳級の皆様に、市の花であるバラが施されたカップ&ソーサーセットを林市長からのメッセージカードを添えて贈呈しました。また、配偶者の皆様にはスカーフや名刺入れを贈呈しました。なお、記念品は市内企業の製品から選定しました。

また、会議主催者が会議参加者に配布するため作成したコングレスバッグに、横浜市のPRグッズ等を封入しました。



スカーフ



名刺入れ

内容

1 首脳等記念品

カップ&ソーサーペアセット

2 首脳等配偶者記念品

スカーフまたは名刺入れ

3 横浜PRグッズ

- (1) 風呂敷
- (2) 横浜クーポンガイド(レストラン、観光施設情報)
- (3) USBメモリ(横浜市PRリーフレット、技術協力紹介動画)
- (4) 会議ロゴ入りコースター
- (5) ウェルカムカード



横浜PRグッズ



ティーカップ



底面

TICAD7 LIVE HEART FOR AFRICA

日時 令和元年8月28日(水)
20:00～21:30

概要

公式サイドイベントとして、MISIA TICAD7名誉大使及び久保田利伸氏によるチャリティーコンサートを開催しました。安倍総理夫人及びアフリカ各国首席代表の配偶者も参加されました。また、このコンサートのチケット収入は全てTICAD7の趣旨に沿った活動に寄附されます。

会場 横浜みなとみらいホール

主催等

主催 TICAD7ライブ実行委員会、横浜市
特別協賛 木下グループ

参加人数 安倍昭恵 内閣総理大臣夫人及び
アフリカ各国首席代表配偶者 20人
一般 1,800人

横浜市警戒本部体制の確立、 横浜市現地警戒本部の設置・医療救護体制の確立

概要

TICAD7横浜開催における安全・円滑な会議開催を支援するため、万全な危機管理体制を確立しました。

TICAD7会期中は、市庁舎内の危機管理センター・災害対策本部運営室にて「横浜市警戒本部」を設置しました。また、会場であるパシフィコ横浜においても「横浜市現地警戒本部」、「消防特別警備現地本部」及び「現地医療本部」を設置し、テロ及び急病人等の緊急事案対応のための人員を配置しました。

内容

1 横浜市警戒本部体制の確立

- (1) 期間：令和元年8月26日(月)13:00～
8月31日(土)17:15
- (2) 会場：市庁舎5階 危機管理センター・災害対策本部運営室
- (3) 内容：
 - ・横浜市現地警戒本部、関係機関からの情報収集及び対応
 - ・広域的な事件、事故発生時の情報収集
 - ・大規模災害、危機事案発生時に備えた体制の構築

2 横浜市現地警戒本部の設置・医療救護体制の確立

- (1) 期間：令和元年8月26日(月)13:00～
8月31日(土)17:15
- (2) 会場：パシフィコ横浜
- (3) 内容：
 - ・外務省、神奈川県警察、第三管区海上保安部等、関係機関からの情報収集及び対応
 - ・消防特別警備現地本部及び現地医療本部との連絡・調整
 - ・横浜市警戒本部との連絡・調整
 - ・急病人への対応等



消防特別警備現地本部の車両待機状況



消防特別警備現地本部でのミーティング



消防特別警備現地本部による現地踏査



消防特別警備現地本部による施設内巡回警戒



現地医療本部